



データから見る「年金」の過去～未来 これから「年金」はどうなるの？

平成30年度の年金支給額は平成29年度と同額になり、今年度「年金」に大きな変化はないように思えますが、『人生100年時代』をむかえ、「年金」関連の議論は沸騰しています。

昨年、内閣府の「高齢社会対策の基本的在り方等に関する検討会」で「繰下げ受給年齢を70歳から75歳に」という提言がなされました。そこから今年度、ついに財務省「財政制度等審議会財政制度分科会」から「年金支給開始年齢を65歳から68歳に」という案が提案されました。今後「年金」はどうなっていくのか？ 厚生労働省が発表した最新のデータをもとに、まずは「年金」の現況を検証してみたいと思います。

男女別公的年金被保険者数 (平成27年度末)

	国民年金 第1号 被保険者	厚生年金被保険者 国民年金第2号被保険者			国民年金 第3号 被保険者	
		トータル	サラリーマン (厚生年金被保険者 1号)	公務員 (厚生年金被保険者 2号～4号)		
トータル	6,712 万人	1,668 万人	4,129 万人	3,686 万人	443 万人	915 万人
男	3,483 万人	859 万人	2,613 万人	2,338 万人	275 万人	11 万人
女	3,229 万人	809 万人	1,516 万人	1,349 万人	167 万人	904 万人

○公的年金被保険者数は、平成27年度末現在で6,712万人となっており、前年度末に比べて1万人(0.0%)減少しています。

- 国民年金の第1号被保険者数(任意加入被保険者を含む)は、平成27年度末現在で1,668万人となっており、前年度末に比べて74万人(4.3%)減少しています。男女別にみると、男子は859万人(対前年度末比37万人、4.1%減)、女子は809万人(対前年度末比37万人、4.4%減)となっています。
- 平成27年度末現在の第3号被保険者数は、915万人となっており、前年度末に比べて17万人(1.8%)減少しています。男女別にみると、男子は11万人(対前年度末比1千人、1.1%減)、女子は904万人(対前年度末比17万人、1.8%減)となっています。
- 厚生年金被保険者数(第1～4号)は、平成27年度末現在で4,129万人(うち第1号3,686万人、第2～4号443万人)となっており、前年度末に比べて89万人(2.2%)増加しています。

国民年金

◆国民年金受給者平均年金月額

平成26年度	54,497円(50,040円)
平成27年度	55,244円(50,927円)

(注)()内の金額は、厚生年金保険の受給権を有しない基礎年金受給者をいいます。

◆国民年金給付状況、適用状況

- 国民年金受給者の老齢年金の平均年金月額は、平成27年度末現在で55,000円、平成27年度新規裁定者で52,000円となっています。また、基礎のみ・旧国年の受給者の老齢年金の平均年金月額は、平成27年度末現在で51,000円(平成27年度国民年金40年加入の満額は64,400円)となっています。平成30年度国民年金40年加入の満額は64,941円になります。

◆国民年金老齢年金の繰上げ・繰下げ受給状況の推移 トータル状況

	総数	繰上げ	受給率	本来	受給率	繰下げ	受給率
平成26年度	7,719,510 人	2,860,808 人	37.1 %	4,756,431 人	61.6 %	102,271 人	1.3 %
平成27年度	7,541,403 人	2,681,20 人	35.6 %	4,757,150 人	63.1 %	103,052 人	1.4 %

◆国民年金老齢年金の繰上げ・繰下げ受給状況の推移 新規裁定状況

	総数	繰上げ	受給率	本来	受給率	繰下げ	受給率
平成26年度	206,266 人	25,491 人	12.4 %	177,623 人	86.1 %	3,152 人	1.5 %
平成27年度	184,589 人	20,114 人	10.9 %	160,819 人	87.1 %	3,656 人	2.0 %

○国民年金老齢年金の繰上げ・繰下げ受給状況の推移の平成27年度末トータル年度末現在は繰上げ35.6%、本来受給63.1%、繰下げ14%です。ただし、平成27年度末新規裁定の繰上げ・繰下げ受給状況は繰上げ10.9%、本来受給87.1%、繰下げ2.0%です。

■厚生年金保険

◆厚生年金(基礎年金含む)の年齢層別受給額・月額平均年金(平成27年度末)

	60~64 歳	65~69 歳	70~74 歳	75~79 歳	80~84 歳	85~89 歳
男女平均	88,353 円	150,118 円	151,656 円	159,968 円	164,689 円	170,959 円
男平均	184,589 人	20,114 人	10.9 %	160,819 人	87.1 %	3,656 人
女平均	184,589 人	20,114 人	10.9 %	160,819 人	87.1 %	3,656 人

◆厚生年金保険給付状況、適用状況

○厚生年金保険(第1号)受給者の平均年金月額は、平成27年度末現在で、老齢年金は148,000円となっています。年齢層別受給額・月額平均年金は図表のとおりです。

○厚生年金保険の標準報酬月額の平均は、平成27年度末現在で309,000円(男子は350,000円、女子は238,000円)であり、前年度末に比べて0.2%増加しています。平成27年度の年度平均についても、308,000円(男子は349,000円、女子は237,000円)と、前年度に比べて0.4%増加しています。

○標準賞与額の1回当たりの平均は、平成27年度で441,000円(男子は513,000円、女子は303,000円)であり、前年度に比べて1.2%増加しています。

○一人当たり標準報酬額(総報酬ベース・年額)は、平成27年度で4,381,000円(男子は5,013,000円、女子は3,284,000円)であり、前年度に比べて0.4%増加しています。

◆公的年金受給者の年金総額の推移

	合計	国民年金	厚生年金保険 (第1号)	厚生年金保険 (第2号~4号)	福祉年金
平成26年度末現在	53兆4,031 億円	21兆3,040 億円	25兆5,993 億円	6兆4,994 億円	3 億円
平成27年度末現在	54兆5,504 億円	22兆1,751 億円	5兆8,123 億円	6兆5,628 億円	2 億円

(注)厚生年金保険(第2号~4号)は共済年金の事です。職域加算部分を含みます。

◆国民年金受給者の年金総額の推移

	合計	老齢年金	通算老齢年金	障害年金	遺族年金
平成26年度	21兆3,040 億円	19兆4,669 億円	1,574 億円	1兆5,786 億円	1,012 億円
平成27年度	22兆1,751 億円	20兆3,158 億円	1,403 億円	1兆6,180 億円	1,010 億円

○平成27年度末現在の国民年金の受給権者の年金総額は、前年度末に比べて8,711億円(4.1%)増加し、22兆1,751億円になります。

◆厚生年金保険(第1号)の受給者の年金総額の推移

	合計	老齢年金	通算老齢年金	障害年金	遺族給付
平成26年度	25兆5,993億円	17兆6,908億円	2兆3,890億円	2,966億円	5兆2,229億円
平成27年度	25兆8,123億円	17兆7,774億円	2兆3,919億円	3,003億円	5兆3,427億円

○平成27年度末現在の厚生年金保険の受給者の年金総額は、前年度末に比べて2,129億円(0.8%)増加し、25兆7,123億円になります。

★平成19年4月以降に離婚等をした場合に、当事者の合意または裁判所の決定により、婚姻期間中の厚生年金保険料納付記録の分割を行う「離婚分割」ができるようになりました。経済的観点からの「離婚」を考察する視点となるデータです。

◆離婚分籍 受給権者の分割改定前後の平均年金月額等の推移

	第1号改訂者平均年金月額(円)				第2号改訂者平均年金月額(円)			
	件数(人)	改定前	改定後	変動差	件数(人)	改定前	改定後	変動差
平成26年度	3,201人	139,424円	109,785円	△29,640円	2,515人	51,528円	82,622円	31,094円
平成27年度	3,119人	136,895円	111,329円	△25,666円	2,496人	54,819円	81,647円	26,828円

(注)1. 第1号改訂者とは、納付記録の分割をした者のことをいい、第2号改訂者とは、納付記録の分割を受けた者のことをいいます。

2. 平均年金月額は、基礎年金が裁定されている場合には、基礎年金月額を含みます。また離婚分籍かつ3号分割を行った場合には、3号分割に係る改定額を含みます。

国民的議論を！

2025年団塊の世代が後期高齢者になることから、公的年金受給者の年金総額の推移からも分かるように、「2025年問題」は年金においても財政問題がいられています。2019年の消費税増税の論議、ひいては「働き方改革」も年金に関連する問題です。行政への信頼が揺らいでいる昨今、「充実した年金制度の構築」へむけて国民一人一人が議論に参加していきたいものです。

お答えします。年金に関する相談をお寄せください

No. 年 月 日

年金相談室

お名前	旧姓()	男・女	明・大・昭 年 月 日(歳)
ご住所	〒()		電話番号
本誌を受け取られた金融機関名			支店名
現在受給中の年金	ない・ある(種類は 年金)		
次の書類がありましたらコピーをお送りください	<ul style="list-style-type: none"> ●年金証書 ●年金手帳 ●ねんきん定期便 等書類 		
●もらい忘れの厚生年金のある人は職歴などを記入してください(戦前・戦後を含め現在までのすべての職歴を書いてください)			
お勤めになっていた会社名	会社のあった所在地	お勤めになっていた時期	
現在の年金または勤務先			
●お聞きになりたいことを具体的に書いてください(別紙を利用して結構です)			
82円切手を貼付した返信用封筒にあなたの住所・氏名を記入したものを同封のうえ、送ってください			
●宛先●〒184-0013 東京都小金井市前原町4-11-35-201 株式会社ビスタ・編集部			
メールでもお気軽にご相談下さい。			
4951@vista1.co.jp			

2018年